

地域の特色生かした活動から学びたい

茨城県から研修生

三沢区民農園に

○…三沢区の区民農園で、茨城県つくば市の農業関連連合会社長、藤岡潤さん(三)が研修に励んでいる。三月八日までの四十五日間、ヤギの世話や区民農園の運

営企画などに参加。「地域の特色を生かした取り組みを持ち帰りたい」と意欲を燃やしている。

○…研修は農林水産省の農村活性化人材育成派遣支援モデル事業「田舎で働き隊！」を活用し、海外農業開発協会(東京都)が研修生を公募したもので、同区に拠点を置き農園と連携するNPO法人「農と人とくらし研究センター」(片倉和人代表)が受け入れた。藤岡さんは期間中、外部での研修や同センターの資料整理、野菜直売所開設を含

めた区民農園事業の検討などに加わるという。

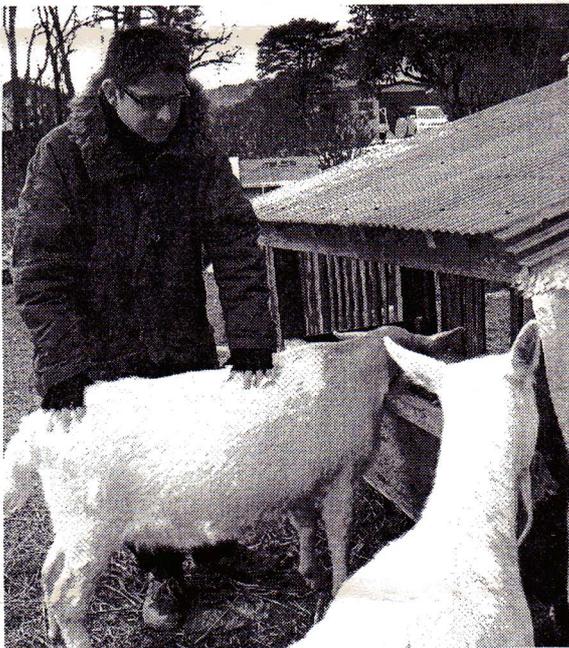
○…藤岡さんは二〇〇八年、つくば市に会社を立ち上げ、農業イベントの開催などを行いながら、ヤギの飼育や農作物の栽培にも取り組んでいる。将来的には、ヤギに草を食べてもらうことで遊休放棄地や芝生、高速道路などを除草し、エコレンタル

ヤギ事業の展望も

知識、技術が区民農園に伝わる期待も

○…三沢では「広く質のいい農地があ

るつくばと違い、狭い土地を農業にどう生かすかという視点を学びたい」と話す。同センターの片倉代表も「持っている知識、技術を区民農園に使ってもらえれば」と期待している。



三沢区民農園でヤギを世話する藤岡さん